

一般財団法人 先端加工機械技術振興協会

令和6(2024)年度事業報告書(案)

令和6(2024)年4月01日から令和7(2025)年3月31日まで

I 先端加工機械技術に関する研究助成

本年度は助成申請件数が10件あった。8月下旬から各審査委員による事前の書面審査を行っていただき、10月1日(火)に審査委員が集まって事前審査結果を基に意見交換を行い、厳正かつ慎重な審議を行った結果、下記の7件が本年度の助成対象の候補と決まった。10月上旬に理事長の承認を得て正式決定し、11月に研究助成金(7件総額490万円)を申請者の所属機関に送付した。

- ①「鋼材の高寿命化のための環境に配慮した表面改質技術の開発」
・井尻 政孝氏 (東京都立大学 助教) (70万円)
- ②「固相接合による超塑性加工を利用したステンレス鋼の機械的性質に及ぼす微細組織因子の解明」
・崔 正原氏 (広島大学 助教) (70万円)
- ③「フライス加工におけるエッジ品質予知に関する研究」
・澤 武一氏 (芝浦工業大学 教授) (70万円)
- ④「クリンチング接合における接合性に及ぼす板材の影響と材料流動制御による接合性の向上」
・安部 洋平氏 (豊橋技術科学大学 准教授) (70万円)
- ⑤「切削屑から固相リサイクルした金属粉末によるPBF-LB/m金属積層造形技術の開発」
・鈴木 崇司氏 (長野県工業技術総合センター 研究員) (70万円)
- ⑥「金属積層造形材料の余剰硬化を考慮した切削加工パス補正による高能率化」
・古木 辰也氏 (中部大学 准教授) (70万円)
- ⑦「染色技術を用いた積層造形物の検討」
・村上 祐一氏 (東京都立産業技術研究センター 副主任研究員) (70万円)

II 先端加工機械技術の動向に関する調査研究

今後の我が国のものづくり産業の基盤となる先端加工機械技術の動向調査を実施するとともに、加工関連の企業(主に中小規模企業)・団体(地方公設機関等)・個人を活性化・強化することを旨として平成27(2015)年に設置した「先端加工研究会」は、企業14社、個人5名となった。本年度は5月と10月に開催された品質工学会研究発表会や7月と11月に開催経営知恵サロン「無関」のオンライン講演会からの招待案内を受けて研究会会員企業に参加を呼びかけたが、参加者は少なかった。

また、メール等を活用して関連分野の表彰制度や各種補助金公募に関する情報提供や相談など、会員間の情報交換は活発に行った。

Ⅲ 研究成果等の普及

(1) 機関誌の発行

最新技術の紹介、研究助成の成果等を掲載する機関誌「先端加工技術」を例年通り3回発行し、各方面に配布した。

第123号：令和6(2024)年6月「高精度ガラス成形技術の最前線」

巻頭言、技術紹介5件、令和3年度研究助成成果報告1件

第124号：令和6(2024)年11月「次世代人工知能・ロボットの中核となるインテグレート技能開発」

巻頭言、技術紹介4件、令和4年度研究助成成果報告4件

第125号：令和7(2025)年2月「ロボットによる加工現場の自動化について」

専務理事就任挨拶、巻頭言、技術紹介4件、令和4年度研究助成成果報告3件

(2) 先端加工技術講演会の開催

講演会を2月21日(金)に霞山会館で開催した。テーマは「AI技術を活用したスマートな技能継承の最前線」で、5名の講師による講演が行われ、参加者は20名で質疑応答も活発であった。

Ⅳ その他

加工技術に関連する各種団体等が主催する行事に協賛するとともに、各種委員会に委員として参加し、加工技術の発展と普及に努めた。

Ⅴ 管理運営について

1. 理事会

(1) 第25回理事会

令和6(2024)年6月11日(火) 提出議案の審議並びに報告を行った。

- ・令和5(2023)年度事業報告及び決算
- ・公益目的支出計画実施報告書等
- ・第12回定時評議員会の開催
- ・令和4(2022)年度研究助成の成果報告
- ・職務執行状況報告
- ・理事候補者の選任
- ・研究助成審査委員の委嘱・機関誌編集委員の委嘱
- ・令和6(2024)年度事業計画・収支予算

(2) 第26回理事会

令和6(2024)年6月24日(月) (書面審議)

- ・代表理事(理事長)の選定

(3) 第27回理事会

令和6(2024)年10月25日(金) (書面審議)

- ・専務理事の選定

(4) 第28回理事会

令和7(2025)年3月21日(金) 下記の提出議案を審議していただいた。

- ・令和6(2024)年度事業報告および決算見込(中間報告)
- ・令和7(2025)年度事業計画案および収支予算案
- ・職務執行状況報告

2. 評議員会

(1) 第12回評議員会

令和6(2024)年6月24日(月) 下記提出議案を審議していただいた。

- ・令和5(2023)年度事業報告及び決算
- ・公益目的支出計画実施報告書等
- ・令和4(2022)年度研究助成の成果報告
- ・理事の候補者名簿
- ・令和6(2024)年度収支予算

3. 委員会

(1) 研究助成審査委員会

令和6(2024)年度の研究助成対象者を選考するための研究助成審査委員会

(5名で構成)は、8月下旬からの事前書面審査の結果を基に10月1日(火)に開催して、前記の7件の助成について全員合意を得ることができた。

(2) 機関誌編集委員会

編集委員4名と事務局2名で、編集委員会を下記の通り3回開催した。本年度も経費節減のため、自主的編集作業を行った。

- ・第1回編集委員会：令和6(2024)年7月12日(金)
- ・第2回編集委員会：令和6(2024)年10月29日(火)
- ・第3回編集委員会：令和7(2025)年2月7日(金)

4. その他

1. 令和6(2024)年6月27日(木)付で、内閣府に公益目的支出計画実施報告書等を提出した。

2. 賛助会員：令和7(2025)年3月31日現在の会員数は2社(3口)である。

以上

内容を補足する重要な事項が無いため、事業報告の附属明細書は作成していない。